

天草流人帖

高野山流人僧墓

高野山流人僧

徳川時代天草は流人の島であった
流されてきた流人は三百余人。

その中に、高野山の僧がいる

元禄五年（1655）^{*}、高野山僧六百余人が流刑となり

そのうち天草には百四十人が流されてきた

流罪となった理由は、明らかではないが、派閥争いによるものとみられている

天草の他には、五島（125人）、隠岐（155人）

流人僧は八年後赦免となり帰国を許されるが、その間亡くなった流人僧も多数いたようだ。

天草近代年譜は次のように記す

元禄一三年 是歳、帰国を差許される。

尤も流島九年の間に、配地に空しくなれる者少なからず

その中で天草で亡くなった高僧流人の墓が

有明・九品寺と志岐・国照寺の墓地に残っている

その墓は、共に立派だ

という事は流人とはいえ島の人々が尊敬していたことが分かる

ただ、その記録がないのが残念だ



天草郡苓北町志岐、国照寺墓地

この墓地には3基の高野山僧墓碑がある

天草市有明町大浦

九品寺の墓碑



九品寺の高野山僧の墓・再建



高野山一心院谷金光院
権大僧都法印祐慶大和上
于時元禄七戊辰十二月三日寂

元禄六 癸酉年 高野山
権大僧都法印栄遍 覺位
六月十九日 寂 寛主院



国照寺の墓碑

国照寺墓地には、三基の高野山僧の墓がある。



(右側面) 正徳三癸巳十一月十五日施主富岡町住人

弟子八代屋長左衛門

(正面) 高野山 前正覚院権大僧都法印秀量
阿闍梨良雲

前長福院阿闍梨秀漢

(左側面) 元禄十丁丑十月七日志岐村に而寂

経緯

「天草近代年譜」松田唯雄著によると、高野山僧流人に関して、次のように記している。

1692 元禄五年七月二五日

幕府、高野山学僧行人の争論を裁断し、行人627人を幽閉する。

1962 元禄五年八月二八日

幕府、高野山僧徒600余人を流刑に処する。

1692 元禄五年九月二七日

高野山行人配流の僧140人、この日富岡着船、曲崎へ仮屋を建てて入れ置く。

1692 元禄五年十月二十七日

富岡仮宿中の配流僧、この日郡中預けとなり、組々へ引き渡される。ただし、内2人は大坂にて、6人は富岡にて死去する。残り132人なり。各組への預かり内訳は次の通り。富岡町7人、志岐組16人、御領組15人、本戸組20人、栖本組20人、大矢野組18人、砥岐組8人、久玉組7人、一町田組

11人、大江組10人。また、この他五島へ125人、隠岐へ155人、それぞれ配流される。

1700 元禄十三年この年

さきに配流されていた高野山の僧侶が赦免され帰国を許される。ただし、尤も流島9年の間に、死去したものの少なからず。



(表) 無縁之塔

(裏) 高野山故正福院乗音

良雲七十三歳而元禄

十一年戌寅正月廿九日化



元禄五年十一月五日入寂

阿闍快信 覺位

為高野山眞徳院 菩提

上の塔は、表に無縁の塔と刻字され、裏に次の文字が彫られている。恐らく無縁塔を再利用したのだろう。一基は自然石である。刻字は磨耗してよく読み取れないが、右の通りのものである。

事件の謎

何故六百余人もの僧が、一度に流人となったのか。先達の研究者にしても、解明されていない。ただし、おおよその事を郷土史家、故鶴田文史氏は、『西海流人衆史』

で、次のように解説している(概略)。

高野山は弘法大師(空海)が開山した真言宗の大本山である。

高野山の僧には三種がある。それは、学侶、行人、聖から構成されている。

学侶は、高野山教団を構成する中核。

行人は、仏前にこうげ常燈、仏飯等の給仕をする。また、学侶に仕えて雑務や諸用を行う。修験者としての性格が強く、中世以降、山上や山下(荘園)の警察的役割を担ってきた。

聖は、主として勧進と唱導が任務である。

人数的には、圧倒的に行人の数が多い。

そこで、考えられるのが、学侶と行人の対立ということだ。つまり、少数であるが、上位に位置する学侶が、長い間に行人層を圧迫してきたのが、遂に爆発したのではないか。

この学侶の圧迫に、行人が反旗を翻したかどうかは、定かでないが、政治権力は、学侶層の味方をし、行人を高野山から追放したのではないか。また、数が増えていた行人のリストラとも言えるかもしれない。

いずれにしても、一度に600人も流罪は、当時としても大事件であったと思うが、なぜか、その記録が見当たらないようである。

天草に流されたのは132人であり、預け先は、組までしか明らかでない。

流人は、島送りとも言われ、特別の事がない限り、御赦免になる事はなかったようであるが、この高野山僧流人は、9年後帰国を許されている。しかし、近代年譜にも記されているように、9年の間に、何人も僧が亡くなっている。ただし、天草に現存する墓(発見されていない墓)は、5基だけであり、何人の僧が、帰国できなかつたか明らかではない。

平圃山 九品寺

所在地 天草市有明町大浦
建立 正保二年（1645）
宗派 浄土宗
開山 鈴木重成
開祖 信譽教我
寺領 五石



万松山 国照寺

所在地 苓北町志岐
開基 正保元年（1644）
宗派 曹洞宗
開基 鈴木重成
開山 一庭融頓
特徴 天草四ヶ本寺の一
寺領 四十五石

